

第7回全国高等学校情報教育研究会 全国大会(埼玉大会)の報告

千葉県立柏の葉高等学校教諭
滑川 敬章

1. はじめに

第7回全国高等学校情報教育研究会¹⁾全国大会(埼玉大会)が、東洋大学川越キャンパスを会場にして、8月12日(火)、13日(水)の2日間に渡って開催された。文部科学省からの後援を初めていただいでの実施となった今大会には、約300名の教員、大学・企業関係者等の参加があり、ポスターセッションや分科会で熱の入った研究協議が行われた。この全国大会の様子について簡単に紹介させていただく。

2. 大会概要

【テーマ】

「輝く未来を創る情報教育

～新しいメディアヘアプローチ～」

【日時】

平成26年8月12日(火)13:00～13日(水)15:30

【会場】 東洋大学 川越キャンパス

【主催】 全国高等学校情報教育研究会

【共催】 埼玉県高等学校情報教育研究会

【後援】 文部科学省、埼玉県教育委員会 他

【大会 URL】 <http://www.zenkojoken.jp/07saitama/>

【プログラム】

○8月12日(火)

11:30～ 受付

12:30～ 全国高等学校情報教育研究会総会

13:00～ 開会行事

13:15～ 基調講演

「輝く自分を創るセルフ・イノベーション」

株式会社リアルディア代表取締役社長

前刀禎明氏

(元アップル米国本社副社長 兼 日本法人代表取締役)

15:00～ ライトニングトーク

16:15～ ポスターセッション

18:00～ 教育懇談会

○8月13日(水)

9:00～ 受付

9:30～ 分科会(4分科会+若手)

14:20～ 全体会・講評講演

文部科学省初等中等教育局視学官 永井克昇氏

15:20～ 閉会行事

3. 大会の様子

(1) 基調講演

基調講演として、株式会社リアルディア代表取締役社長の前刀禎明氏から、「輝く自分を創るセルフ・イノベーション」というタイトルでお話しいただいた。前刀氏は、元アップル米国本社副社長 兼 日本法人代表取締役で、2004年に「iPod mini」をブレイクさせた仕掛け人である。

講演では、セルフ・イノベーションを実現させるためには、感じる力(感性)、創る力(創造力)、動かす力(行動力)を磨くことが重要であること、そのために変化やその兆しを感じる五感やイメージーションを養うことが大切であることなど、様々なキーワードを挙げながらお話しいただいた。

最後は、「輝く未来を創る子どもたちのために、情報教育をリードしてください。それをやっていくのはここにいる皆さん方です。」と締めくくられた。



図1 開会行事の様子

(2) ライトニングトーク

前大会に引き続き、今大会でも Lightning Talk セッションが行われ、16名の発表者からポスターセッションや分科会の内容等について1人3分で発表があった。プロジェクタとPCとの接続トラブルでな

かなかスライドが出ないこともあったが、情報科の先生らしくうまく場を切り抜けながら発表されていた。最後には実行委員会から地元埼玉の紹介や、来年の宮崎大会の案内もあって、とても盛り上がった。

話者の交代を告げる銅鑼の音は、前大会では銅鑼の音のファイルの再生だったが、今大会では本物の銅鑼が用意され、ライトニングトークを盛り上げた。

(3) ポスターセッション・企業展示

ポスターセッションは、前半・後半の発表を入れ替えずに90分間通して行われた。発表者からは他の発表をまったく見られないのは残念、という声も聞いたが、参加者としては十分に時間があつたので落ち着いて発表や企業展示を見ることができた。

全部で19件の発表が行われたが、大まかに分類すると、授業実践や教材の紹介、学習システムやツールの提案、高大連携や大学関係の取組に分けられる。全国高等学校情報教育研究会の第7回大会のページで発表テーマが一覧できるので参照してほしい。

目新しいところでは、「情報入試研究会」の先生方が、これまでに2回実施している「大学情報入試全国模擬試験」の内容や出題意図、模試の結果の分析などについて発表されていた。そして、来年2月に実施予定の第3回模擬試験への参加を熱心に呼びかけていた。また、今回は高校生からの発表もあった。高校生としては高度な内容で、多くの先生方から注目を集めていた。先生方を相手に発表することで学ぶことも多かったのではないかと思う。



図2 ポスターセッションの様子

(4) 分科会・若手枠特別分科会

2日目の分科会は、「授業の展開・問題解決」、「教材の紹介・教材の開発」、「実践と提案」、「評価・情報モラル」の4つに分かれて行われた。1件の発表は25分で、各分科会で7～8件の発表が行われた。分科会についても、第7回大会のページで発表テーマや資料が一覧できるので参照してほしい。

今大会では、第5回の千葉大会で行われていた若手枠特別分科会が復活し、関東近隣および情報科採用数の多い大阪府から推薦をいただいた先生方が登壇された。来賓の永井視学官も、これからの情報科を担う若手の先生方が、どのような方向性をもって授業をされているのかが重要だと、若手分科会に参加されていたそうである。



図3 分科会の様子

(5) 全体会・講評講演

永井視学官から2日間を振り返っての講評と、「本気で取り組む情報教育～正しい理解と適切な実施～」というタイトルで講演をいただいた。

はじめに、前刀氏のプレゼンテーションや分科会での発表の様子などを振り返りながら、時間をかけて丁寧に今大会の講評をしていただいた。

講演では、次の学習指導要領への動きや、小中学校でのプログラミング教育についての話題に触れながら、今後の教科情報の方向性についてお話しされた。最後は、「先生方の授業実践が我々の財産になっていくので、教科情報の授業の実践を積み重ねていってほしい」とまとめられた。

4. おわりに

来年度の第8回となる全国大会は、平成27年8月10日(月)、11日(火)に、宮崎県の宮崎公立大学で開催される。初の九州地域での大会となるが、実行委員会から、この時期の飛行機は大変とりにくくなるので、参加予定の先生方は2ヶ月前には席を押さえておいた方がよいとのアドバイスもあった。遠方の方はぜひ早めに予定を立てていただき、多くの先生方とまた九州の地でお目にかかりたいと思う。

参考 URL

- 1) 「全国高等学校情報教育研究会」
<http://www.zenkojoken.jp/>